



病院機能指標

～運営に関する項目～

1-1.病床稼働率（一般病床）

項目の解説

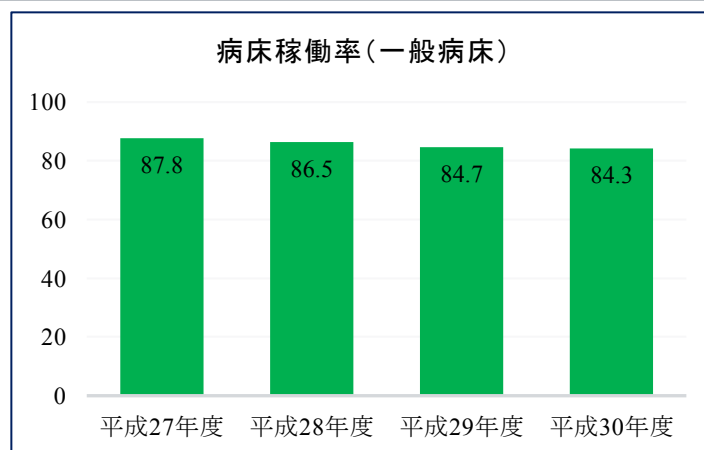
一般病床の運用に関する効率性を表す指標です。ただし、急性期医療を担うために、高度救命センターの機能における空床確保も含め、常に利用可能な病床を提供する必要もあるため値の解釈には注意が必要です。病床稼働率が高いことは、ベッドを効率的に運用していることを表しています。

算式

$(\text{「入院患者延べ数」} \div \text{「延稼働病床数」}) \times 100$

当院の実績

平成 30 年度	84.3%（年間）
平成 29 年度	84.7%（年間）
平成 28 年度	86.5%（年間）
平成 27 年度	87.8%（年間）



定義

当該年度 1 年間の、一般病床における病床稼働率です

1-2. 病床稼働率（精神病床）

項目の解説

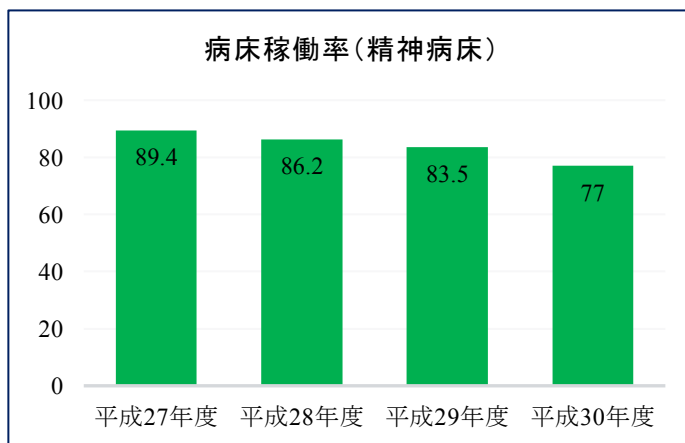
精神病床の運用に関する効率性を表す指標です。ただし、急性期医療を担うために、高度救命センターの機能における空床確保も含め、常に利用可能な病床を提供する必要もあるため値の解釈には注意が必要です。病床稼働率が高いことは、ベッドを効率的に運用していることを表しています。

算式

$(\text{「入院患者延べ数」} \div \text{「延稼働病床数」}) \times 100$

当院の実績

平成 30 年度	77.0% (年間)
平成 29 年度	83.5% (年間)
平成 28 年度	86.2% (年間)
平成 27 年度	89.4% (年間)



定義

当該年度 1 年間の、精神病床における病床稼働率です

1-3. 病床稼働率（結核病床）

項目の解説

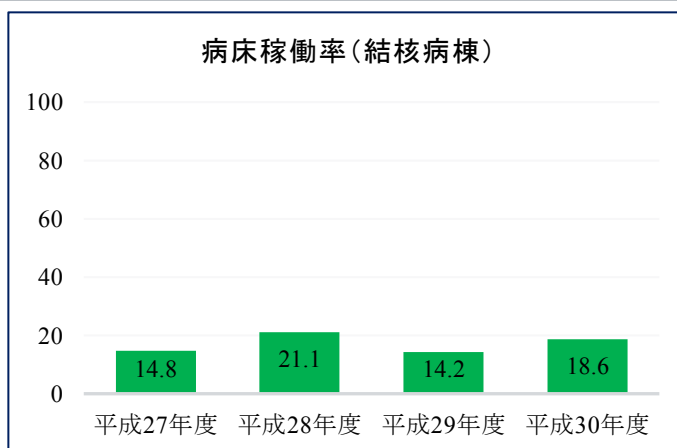
結核病床の運用に関する効率性を表す指標です。ただし、急性期医療を担うために、高度救命センターの機能における空床確保も含め、常に利用可能な病床を提供する必要もあるため注意が必要です。病床稼働率が高いことは、ベッドを効率的に運用していることを表しています。

算式

$(\text{「入院患者延べ数」} \div \text{「延稼働病床数」}) \times 100$

当院の実績

平成 30 年度	18.6%（年間）
平成 29 年度	14.2%（年間）
平成 28 年度	21.1%（年間）
平成 27 年度	14.8%（年間）



定義

当該年度 1 年間の、結核病床における病床稼働率です

2-1.平均在院日数（一般病床）

項目の解説

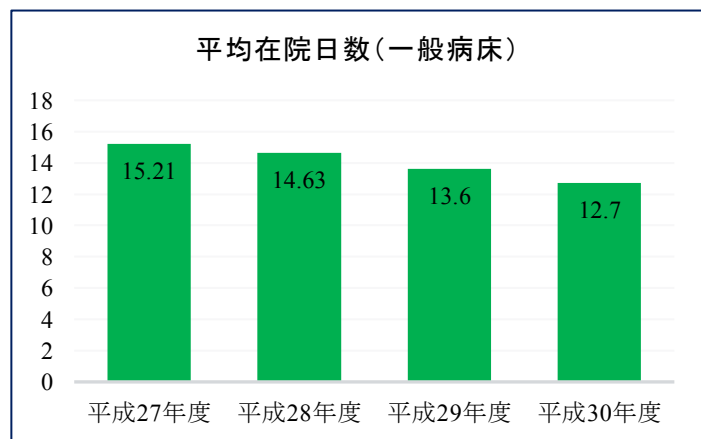
患者が一般病床に平均何日入院しているのかを表す指標です。患者の重症度や疾病により違いがあるため単純に比較することはできませんが、急性期病院の治療能力を反映している可能性があり、質の確保と医療の効率化が高いレベルで達成されるほど、平均在院日数は短縮されるとされています。また、病床稼働率（一般病床）と合わせて比較することにより、例えば病床稼働率が上昇し、在院日数が短縮している場合は、地域の医療機関などと連携しながら、急性期医療を効率的に行っていると考えられます。

算式

「在院患者延数」÷（（「新入院患者数」+「退院患者数」）÷2）

当院の実績

平成 30 年度	12.70 日（年間）
平成 29 年度	13.60 日（年間）
平成 28 年度	14.63 日（年間）
平成 27 年度	15.21 日（年間）



定義

当該年度 1 年間の、一般病床における平均在院日数です

2-2. 平均在院日数（精神病床）

項目の解説

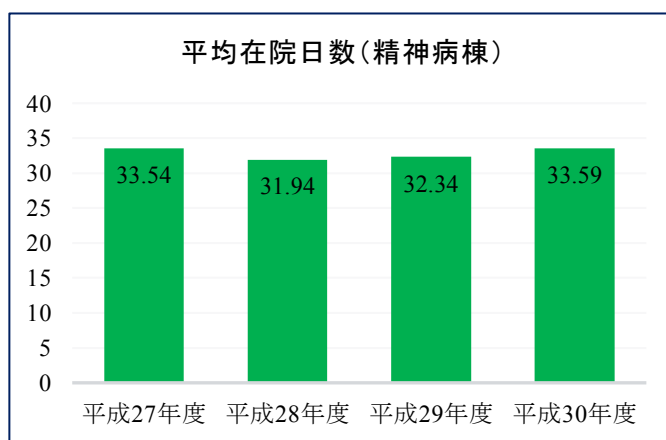
患者が精神病床に平均何日間入院しているかを表す指標です。患者の重症度や疾病により違いがあるため単純に比較することはできませんが、質の確保と医療の効率化が高いレベルで達成されるほど、平均在院日数は短縮されるとされています。

算式

「在院患者延数」÷（（「新入院患者数」+「退院患者数」）÷2）

当院の実績

平成30年度	39.59日（年間）
平成29年度	32.34日（年間）
平成28年度	31.94日（年間）
平成27年度	33.54日（年間）



定義

当該年度1年間の、精神病床における平均在院日数です

2-3. 平均在院日数（結核病床）

項目の解説

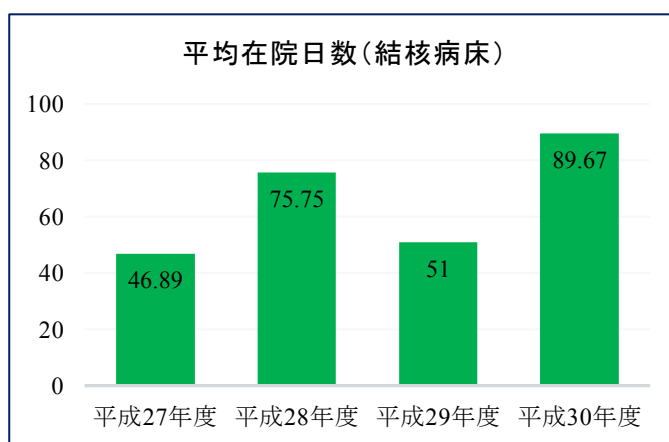
患者が結核病床に平均何日間入院しているかを表す指標です。患者の重症度や疾病により違いがあるため単純に比較することはできませんが、質の確保と医療の効率化が高いレベルで達成されるほど、平均在院日数は短縮されるとされています。

算式

「在院患者延数」÷（（「新入院患者数」+「退院患者数」）÷2）

当院の実績

平成 30 年度	89.67 日（年間）
平成 29 年度	51.00 日（年間）
平成 28 年度	75.75 日（年間）
平成 27 年度	46.89 日（年間）



定義

当該年度 1 年間の、結核病床における平均在院日数です

3-1.病床回転数（一般病床）

項目の解説

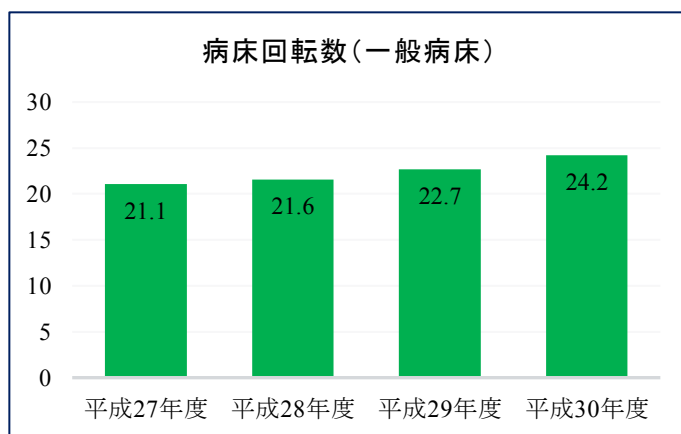
一般病床において、病床当たり、年間何人の患者が利用したかを表す指標です。
回転数の数値が大きいほど病床の利用頻度が高いと言えます。

算式

$$(365 \div \text{平均在院日数}) \times (\text{病床稼働率}(\%) \div 100)$$

当院の実績

平成 30 年度	24.2 回（年間）
平成 29 年度	22.7 回（年間）
平成 28 年度	21.6 回（年間）
平成 27 年度	21.1 回（年間）



定義

当該年度 1 年間の、一般病床における病床回転数です

3-2.病床回転数（精神病床）

項目の解説

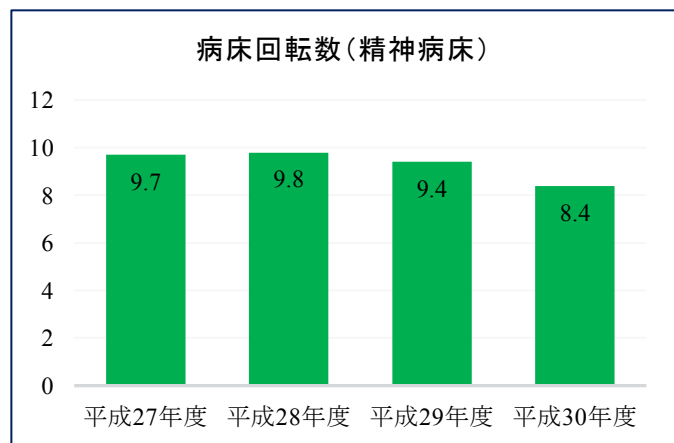
精神病床において、病床当たり、年間何人の患者が利用したかを表す指標です。
回転数の数値が大きいほど病床の利用頻度が高いと言えます。

算式

$$(365 \div \text{平均在院日数}) \times (\text{病床稼働率}(\%) \div 100)$$

当院の実績

平成30年度	8.4回（年間）
平成29年度	9.4回（年間）
平成28年度	9.8回（年間）
平成27年度	9.7回（年間）



定義

当該年度1年間の、精神病床における病床回転数です

3-3. 病床回転数（結核病床）

項目の解説

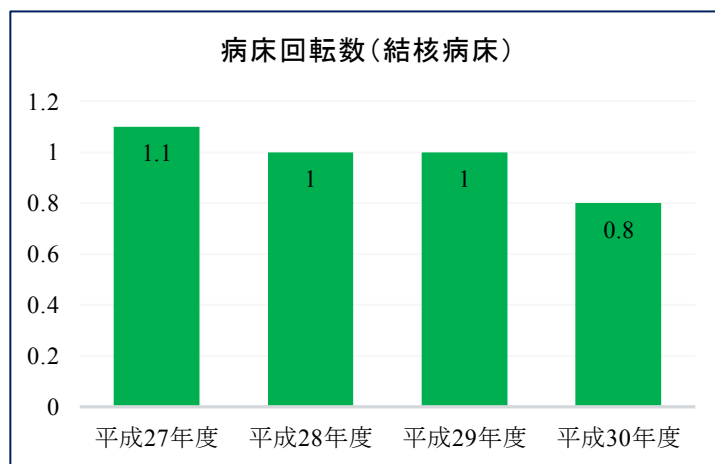
結核病床において、病床当たり、年間何人の患者が利用したかを表す指標です。
回転数の数値が大きいほど病床の利用頻度が高いと言えます。

算式

$$(365 \div \text{平均在院日数}) \times (\text{病床稼働率} (\%) \div 100)$$

当院の実績

平成 30 年度	0.8 回（年間）
平成 29 年度	1.0 回（年間）
平成 28 年度	1.0 回（年間）
平成 27 年度	1.1 回（年間）



定義

当該年度 1 年間の、結核病床における病床回転数です

4 - 1. 紹介率

項目の解説

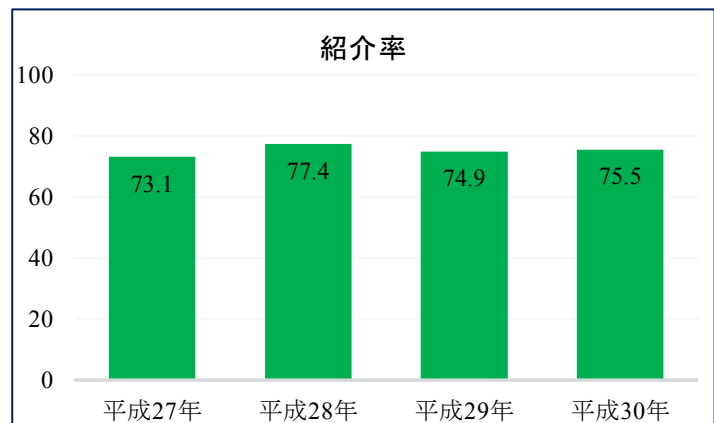
外来初診患者のうち、他の医療機関から紹介状を持参した患者の割合を表す指標です。地域の医療機関との連携の指標であり、これらの指標が高い医療機関は、各患者の病状に応じた医療の提供に貢献していると考えられます。

算式

$(\text{紹介患者数} + \text{救急車搬入患者数}) \div \text{初診患者数} \times 100$

当院の実績

平成 30 年度	75.5% (年間)
平成 29 年度	74.9% (年間)
平成 28 年度	77.4% (年間)
平成 27 年度	73.1% (年間)



定義

当該年度 1 年間の、紹介率です

4-2.逆紹介率

項目の解説

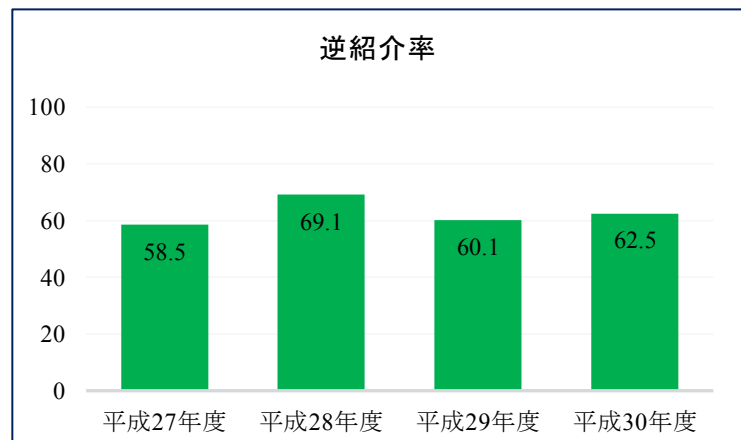
他の医療機関へ患者を紹介した割合を表す指標です。地域の医療機関との連携の指標であり、それらの指標が高い医療機関は、各患者の病状に応じた医療の提供に貢献していると考えられます。

算式

逆紹介患者数÷初診患者数×100

当院の実績

平成30年度	62.5% (年間)
平成29年度	60.1% (年間)
平成28年度	69.1% (年間)
平成27年度	58.5% (年間)



定義

当該年度1年間の、逆紹介率です